

57 牛エペリスロゾン病

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD A["(1) 疫学調査"] --- B["(2) 臨床検査"] A --- B B -- "(死亡牛)" --> C["(3) 剖検"] B --> D["(4) 血液検査"] D -- "(+)" --> E["(+)", "判定・結果"] D -- "(-)" --> F["(-)", "判定・結果"] C -.-> G["(5) 病理組織検査"] G -.-> H["(+)", "判定・結果"] G -.-> I["(-)", "判定・結果"] </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p>(+) (-) (+) (-)</p>
最終判定	<p>疫学調査、臨床検査の結果を基に、血液検査の結果により本病とする。</p>
その他	

→類似疾病検査

- ① 8 アナプラズマ病 ② 7 ピロプラズマ病(牛タイレリア病) ③ 7 ピロプラズマ病(牛バベシア病)
- ④ 中毒性貧血

- 病原体:
- 牛 { *Mycoplasma wenyonii* (赤血球型)
 - M. tejanodes* (血漿型)
 - M. tuomii* (血小板型)

注: *Eperythrozoon* 属は *Mycoplasma* 属に編入された。

(1) 疫学調査

- ① 放牧、舎飼いに関係なく感染
- ② シラミ、ノミ、ダニ、サシバエ、カなどの生息状況
 に関係
- ③ 高温、分娩、輸送、過密飼育などストレス感作が
 あったときに好発

(4) 血液検査

- ① 血液塗抹ギムザ染色標本の鏡検
 エペリスロゾーンの検出と同定
- ② 血球計算
 - ・赤血球数の減少(Ht 値、赤血球数の測定)
 - ・白血球数の増加

(2) 臨床検査

- ① 発熱
- ② 一般症状の悪化
- ③ 貧血、黄疸(豚の場合で著明)

(5) 病理組織検査

- ① 肝臓の小葉中心性脂肪化、壊死
- ② 心筋間質の水腫と細胞浸潤

(3) 剖 検

- ① 肝臓は黄褐色を呈し、胆嚢が腫大し濃厚胆汁
 を貯留
- ② 全身各臓器の黄疸(死亡例)
- ③ とくに膀胱粘膜の点状出血